



2023-24年度
国際ロータリー会長
ゴードンR. マッキナリー

第2730地区 鹿児島西ロータリークラブ

10月は地域社会の経済発展月間です

会長 有村 春房
幹事 久永 忠範
会報雑誌委員長 萩原 徹

- 例会場 〒892-0828 鹿児島市金生町3-1 山形屋7F 社交室 毎週水曜日 12:30~13:30
- 事務所 〒892-0828 鹿児島市金生町3-13-5 F TEL:099-223-5902 FAX:099-223-7507

「スポーツ・コンベンションセンターについて」

本日の主要
プログラム

鹿児島県観光・文化スポーツ部

スポーツ・コンベンションセンター整備課 課長 西 博夫様

- ① ロータリーソング(我等の生業)、西ロータリーの歌
- ② 会長あいさつ
- ③ 会務報告
- ④ 出席報告
- ⑤ ニコニコBOX披露

Reborn For The Future(1973-74年)

会長 有村 春房

1973-74年度は川村 洋会長、外西寿彦幹事。川村 洋会長もチャーターメンバーで、山形屋の社長でいらっしゃいます。

この年度は例会卓話のテーマを見ても、海外に関するものが8回あり、非常に国際色豊かな年度となっています。驚くべきことに卓話に留まらず、74年4月25日の週報514号にルーテル教会宣教師のジョーンズ・ミッチェルという外国人の方が入会され、新入会員卓話が掲載されています。学生時代に日本史を勉強したことが縁で、日本に宣教師として派遣され、伝道と社会福祉に取り組むと述べておられます。

外国籍の会員ということでは、創立30周年の際に、21代会長の高井敏治会員が思い出に残る会員として、アメリカの教会から派遣されていた春山ジャステン、サラ夫妻を挙げておられます。「ロータリーの構成にはアメリカの習慣、物の考え、プロテスタントの信仰が大きく作用しております。それらはアメリカをよく知らないとはわかっていないことがあります。私達は春山夫妻に多くのことを教えてもらいました。」と語っておられるのを読み、大変驚きました。

私たちは今回の60周年記念式典の「未来への提言」で、クラブの多様化の観点から外国籍の会員を入れたいと申し上げました。過去には存在しないと思っていたからです。しかしながら春山ジャステンさんは、なんと1964年3月19日、第8号の週報に例会でゲスト挨拶をされ、同年1月5日の例会で日本基督教団鹿児島地区宣教師

春山ジャステンとして新入会員紹介されています。1970-71年 久保田(椋鳩十)会長年度には理事になられ、1972年6月まで在籍されておられたようです。

ジョーンズ・ミッチェルさんは名簿を見ると1976-77年度まで在籍されておられるようです。つまり、クラブ設立後間もない頃から1976年度までは外国籍の会員が在籍されておられたわけです。当初より多様なクラブであったことがわかり、却って現在の会員の方が見習わなければならないと思知りました。

1973年の私は岩川に住んでおりました。県下3大祭りと言われる弥五郎どん祭りが有名で、お祭りの時には子供から大人の部までの相撲大会があり、小学校4年生、5年生の部で優勝しました。夏には地区対抗のソフトボール大会があり、小学生から大人までの混成チームで闘い、大変楽しかったことを覚えています。

この年、社会的にはジャイアンツV9達成、フィリピン・ルパン島から小野田少尉の帰還などがありました。



会 長
川 村 洋

第 11 年 (1973~74)

昭和48年7月~49年6月

《R1会長ターゲット》

今こそ行動の時



幹 事
外 西 寿 彦

